



NSバートルクライ

#205

5 / 2024 (135)

レキシコン - Michael Kühnen

88 - 東インドウエーロピアニズム

東インド・ヨーロッパは、先史時代に移住と征服によって近東と中央アジアの大部分を定住・支配し、この地域に古代アーリア人の文化基盤を築ききっかけとなったアーリア人種（アーリア人参照）の一族である。人種的混血（人種間闘争も参照）の結果、東インド・ヨーロッパ主義はほとんど消滅したが、大インドの高位カーストやペルシャのツァラトウストラの光の古アーリア宗教の信者であるパールシー派には、厳しい人種的隔離によって今もなお存続している。また、クルド人の中には東インド・ヨーロッパ系の名残が残っている。

アラブ人やトルコ人の民族に見られるアーリア人種の分派とともに、これらの東インド・ヨーロッパ主義の残滓は、ヨーロッパの国家社会主義政党（国家社会主義ドイツ労働者党参照）のレーベンスラウム政策（レーベンスラウム参照）の最も重要な構成要素を形成している。東インド・ヨーロッパ系の中でも、特にパールシー派はヨーロッパの大きな居住区に属しており、ペルシャはその一部でアジアへの影響



の橋渡し、ゲートウェイを担っている。

国家社会主義は、人種、政治、文化、経済のあらゆる分野で東インド・ヨーロッパ主義を振興し、東インド・ヨーロッパ主義の偉大な歴史、文化、伝統によって豊かにされたアーリア人の運命共同体と民族に再統合するために努力しているのである。東インド・ヨーロッパ主義は、汎アーリア的な世界権力の主張、ひいては世界的な新秩序の本質的な柱である。

89 - 東方政策

核時代におけるドイツのソ連との関係は、ソ連がもはや外から、戦争によって打ち負かすことのできない超大国であり、ロシア人をはじめとするソ連邦の人民が自ら成し遂げることのできる内部からの克服が必要であることを認識することによって、決定されなければならない。

このことから、国家社会主義は、すべての帝国主義--ソ連のそれを含む--を否定し、とりわけ、種の本性に反するその国家イデオロギー--マルクス主義--と戦い、ついにこれを克服するが、来るべき国家社会主義人民国家は、そのように、ドイツ民族のオストポリティークの助けを借りて、ドイツ民族の統一と自由を可能にし、確保すべく国家間のバランスを図るだろう、ということが分かるのだ。

このようなオストポリティークは、1969/00年以降のFRG体制政党の降伏・放棄政策と共通するところがない。むしろ、*Gesinnungsgemeinschaft der Neuen Front*は、国家社会主義ドイツのOstpolitikの原則を次のように定式化している。

1. 新世代の国家社会主義は、東方拡大思想を放棄している。

新戦線は、FRGのNATOからの撤退を目指し、権力、経済、防衛政策の面で東西間の第三の道を追及します（中立、社会主義、人民防衛も参照）。

3. 新戦線は、ドイツの統一、自由、主権を求め、東西対立における非同盟と中立を保証し、ソビエト帝国との政治的、経済的な包括的なつながりを提供する。

新戦線は、中・東欧の古代ドイツ人入植地にドイツ人を再定住させ、彼らに民族的権利を与えることを要求しているが、国家国境の画定問題は、最終的にヨーロッパ全域で新秩序が実現されるまで未解決のままにしている。ソ連側が、ポーランドやチェコの土地泥棒に対して政治的支援を放棄して権力を確保するなど、暫定的な解決に努めれば別だが、そうでない場合はどうだろう。

新戦線は、ソ連が国家社会主義ドイツの東方政策の可能性、申し出、要求について積極的な表現をすれば、ソ連帝国を外部からどのようにでも揺さぶるような試みを控えることを確約している。

90 - 議会主義

議会主義とは、西洋型民主主義が想定する国家における国民主権を実現し、それによって国民の政治的自由を可能にしようとする試みである（失敗する運命にあるか、最初から真剣に取り組んでいなかったか）。議会制は、資本主義がその経済形態であるのと同様に、自由主義というイデオロギーの国家形態である。

理想としての議会主義は、普遍的で自由かつ秘密裏に行われる国会議員の選挙を特徴とし、国会議員は国民の代表として、議論、投票、多数決を通じて国家政策を決定し、法律を制定する。したがって、この理論によれば、議会は国民の政治的意思を反映し、国民のはずの主権を体現していることになる。その基盤と活動は自由であるはずの様々な政党が、この意志形成に参加し、様々な立場と解決策を提示し、その中から国民は決断を下すことができるのである。

しかし、現実には、立場の異なる政党は、しかもそのほとんどが資本主義の社会集団の個別的利益に奉仕するのみで、人々を引き裂き、その結果、彼らの政治的意思形成は不可能となるのである。この事実は、人々の間に価値相対主義を呼び起こし、支配者が広範な大衆を意のままに操ることを可能にする。また、リベラリズムは資本主義との歴史的提携を不可分とし、自由資本主義となっているため、資本主義から発せられる無制限な唯物論は、議会主義が推進する価値相対主義とも結合しているのである。し

かし、唯物論と価値相対主義は、常に文化の退廃を意味する。このことから、議会主義は、支配的なマイナス世界を支え、人民を惑わし、退廃を促進し、その結果、それによって形成された人民の種の保存と発展を脅かすために、偽善と唯物論が展開される舞台と劇場にほかならないことがわかります。

国家社会主義は、国家全体の政治的動員を伴う議会主義、コーポラティヴィズムの経済秩序を通じたすべての社会集団の国民生活への参加と共同責任、自発的に結合したWolksgemeinschaftによってのみ可能となる国家の主権に反対している。

アーリア人（アーリア人参照）の生活空間における主権国家の意志の担い手、したがって民族の自由の保護者は、唯一の活動的国家党としての民族のそれぞれの国家社会主義党、したがってドイツでは、国家社会主義ドイツ労働者党なのである。

91 - PARSEN

パールシー派は、イラン（ペルシャ）に定住した東インド・ヨーロッパ語族に属するアーリア人の民族・宗教集団である。ペルシャは古代アーリア人の居住地域で、現在のパールシーは、かつて古代ペルシャ帝国とその文化を担ったアーリア人の歴史的継承者であり子孫である。

勝利したアラブ人がペルシャに持ち込んだイスラム教による征服の後、アーリアニズムの人種の実体はますます減少したが、人々の体から完全に消え去ることはなかった。今日のペルシャ人にわずかに残るアーリア人の血は別として、この地域の東インド・ヨーロッパ主義は、とりわけパールシーと少数民族のクルド人の間で存続している。

しかし、現代の東インド・ヨーロッパ主義にユニークなのは、パールシー派がアーリア人の血を引くという人種的な意識を持ち続けているだけでなく、それを非常に誇りにしている点である。彼らは、一方でイスラム教以前のアーリア人の火教であるツァラトウストラを粘り強く信仰することでアーリア人の血を守り、他方で少数民族内とヨーロッパ人とのみ結婚を認めるという厳格な人種隔離を行っており、これはヨーロッパに移住した

アーリア人との先史時代の人種的血縁関係を顕著に意識している証拠でもある。

アーリア系ペルシャの王侯貴族や神官の子孫で、イスラムに征服された後も古い信仰と民族意識を持ち続けたパルシーの人々は、アーリア民族の神聖な印としてスワスティカを崇拝しているのである。このように、パルシー教徒は、ヨーロッパ民族社会主義の理想的な同盟者であり、第四帝国は、アジアへの戦略的橋渡しとしてのイランを含む、より大きなヨーロッパの生活空間全体を包含しようとするものである。

国家社会主義は、東インド・ヨーロッパ主義の再生を目指し、促進し、政治的、人種的、文化的、経済的に強化しようとするものである。パルース人は、一方では大ヨーロッパ圏の最も遠い国境地帯との政治的なつながりを維持し、他方では大インド圏の東インド・ヨーロッパ主義の残滓との橋渡しをすることになるので、重要な役割を担っているのである。

92 - 当事者に敵対的

国家社会党（国家社会主義ドイツ労働者党を参照）の党生活において、党の敵とは、組織的および／または政治的な党活動の基礎と原則に、真剣に、意識的に、故意に違反する（元）党員を指す。これは、意図的な裏切りによって、規律、同志愛、政治闘争における献身と犠牲の覚悟、忠誠の義務に著しく違反することを指します。また、純粹に個人的な、党を傷つけるような野心で、人格崇拝に近いものや、一般路線から積極的かつ深刻に逸脱し、党を分裂させるようなものも意味します。

党自身から出現した党の敵は、国家社会主義にとって最悪の、倫理的に非難されるべき、人間的に劣った敵である--彼はウンターメンシュである！

信念が変わったり、内面の強さが、人民の戦闘エリートの一員として党の同志に課せられた要求を満たすのに十分でなくなったとしても、誰も責めることはできない。しかし、かつて自分自身が信じていたもの、そして同志がそのために戦い続けているものを、上記の行動によって傷つけ、戦い、妨害することは卑劣なことである。

信仰や意志が自分を見捨てたから、共同戦線を離れなければならないと考える者は、静かに、目立たぬようにそうしてもよい。われわれの闘いは、自由意志と人種的誇り、自発的に自分の国に奉仕する人格に基づいているからである。

93 - パーティプログラム

国家社会党は、国家の政治的前衛組織であり、新秩序への道を切り開くために戦っています。この道は、不変の党綱領によって規定され、その綱領の達成は、新秩序の建設につながり、その後、任務を果たした党の解散に至る。党綱領が変更できないのは、目標とそれに必要な政治的条件も変更できないからである。しかし、党綱領は、変化する現実を理解し続けるために、当然、時折、再解釈を必要とする。党綱領の解説は党綱領の一部である（一般綱領を参照）。

ドイツにおける国家社会主義党の党綱領は、1920/30年2月24日の国家社会主義ドイツ労働者党の25箇条に具体化されています。党の公式解説書はこれまで、ゴットフリート・フェーダー氏（1933年まで有効）とアルフレッド・ローゼンベルク氏（1945年まで有効）の2冊がある。それ以来、ドイツにおける国家社会主義の政治的現実、すっかり変わってしまった。そこで1985/96年11月、JdFのPg.Michael Kühnenは25項目に関する新しい解説を発表した。これはナチス禁止期間中、つまり新しい公式党解説が出されるまでの間、旧党と設立予定の新党との間の仮の橋渡しとして機能するよう意図されており、そのため新戦線のGesinnungsgemeinschaftの一般路線に含まれているといえるだろう。

NSDAPの党綱領は、本質的に、ドイツ民族主義、社会主義、人種意識（人種衛生を参照）の要求と、国民経済（利子への束縛を参照）、フェルキッシュ法学、人民防衛、フェルキッシュ文化（文化革命を参照）という4つの民族の自由を宣言している。

1〜3（1.自決権、2.公正な平和秩序（平和を参照）、3.Lebensraum）はドイツ民族主義の要求である。

第4〜8項目（4.民族と市民権、5.すべての非ドイツ人に対する外国人

法、6.国家統治、7.ドイツ人のためのドイツ、8.外国人の送還)は、ドイツ民族の過剰エリネーションと種の保存と発展の前提としての人種的隔離の必要性に関する党の人種要求を示したものである。

NSDAP党綱領の25項目の中心は、9~10項目(9.フォルクスゲノッセンの権利と義務(平等を参照)、10.働く権利、働く義務、11.社会主義フォルクスゲマインシャフトの建設、12.すべての戦争利益の没収、13.国有化、14.利益分配、15.寛大な老齢年金、16.中間層の振興、17.土地改革、10.フォルクシェドリングの死(刑)の社会主義フォルクシェミンシャフトの実現に向けた要求であった。

これらの点から、国民経済の自由度を保証しています。11には、党綱領の第一の礎として、利子への束縛を断ち切ることを要求している。

ポイント19(ドイツ法)は、ヴェルキッシェ裁判権の自由を保障するものです。

ポイント20では、2つの教育目標による教育の再編成について説明しています。コミュニティ・アイデアとエリート教育(エリートとエリート教育参照)。

21点目(公衆衛生)は、国家社会主義者の人種衛生政策の基礎を形成するものである。

項目22(人民防衛)は、人民軍を編成することにより、人民防衛の国家的自由を確保する。

ポイント23は、フェルキッシェ文化の自由をもたらしたドイツ文化革命について解説しています。

ポイント24(**Gemeinnutz vor Eigennutz**)は、党綱領の第二の礎を形成し、国家社会主義をドイツ国民の間の愛と相互信頼の絆として理解する、ポジティブなキリスト教への献身に言及して、その精神を説明している。

最後に、第25項では、国家の改革を訴えている。

NSDAP党綱領の序文では、綱領は時間計画であり、その達成は党の解散

につながると書かれている。最後の言葉には、党の指導者たちが、命をかけて党のプログラムを遂行するという自己コミットメントが含まれている。そして、1925年のNSDAPの総会で、党の綱領は不変であると決定された。しかし、ドイツの国家社会主義者にとっては、すべての綱領の最後に、「総統の政治的遺言」があるのだ。

「前線の兵士たちの犠牲と、死に至るまでの私の愛着から、いずれにせよ、国家社会主義運動の輝かしい再生、ひいては真のフォルクスゲマインシャフトの実現のために、再び種が芽生えるだろう。」

アドルフ・ヒトラー

94 - パーソナリティ

国家社会主義における人格の概念は、救済の概念、すなわち倫理的に質の高い思想のために努力すべき思考、意志、行動の統一と密接に結びついている。したがって、国家社会主義者の人格は、知識、意志、行動が一体となって形成されている人間である。知識への努力は、国家社会主義の科学的知識論としての生物学的人文主義によって答えられ、環境における生物学的種としての人間の本質の現実を探求するものである。その意志は、アーリア人（アーリア人参照）の国家社会党（国家社会主義ドイツ労働者党参照）への自発的な編入によって、完全な表現となる。最後に、行為は、国家社会主義者にとって、絶え間ない生存のための闘いである人生に対する「イエス」の中に具現化されているのである。

しかし、知識、意志、行動は、国家社会主義者にとってそれ自体が目的ではなく、倫理的に価値のある思想に奉仕するものでなければならない。国家社会主義者は自分のために生きているのではなく、自分の人生を価値あるものにする思想や価値のために生きているのです。これが、国家社会主義者の価値観理想主義の核心である。しかし、最高の価値は共同体、とりわけ人と民族の共同体であり、それはすべての人間の生命の前提である。

このような背景から、国家社会主義者、とりわけ党員は「人種と人格の最高の価値」を体現するよう努めるべきだという総統アドルフ・ヒトラーの要求が説明できるのである。この2つは一緒になっています。自分の才

能、傾向、能力のすべてを、思考、意志、行動の調和のとれた統一の中で実現し、それらを自分の種族と民族の種の保存と発展のために役立てる人だけが、真に個人的な存在なのである。

このような生活態度は、共同体としてのアーリア人の自己認識と自己実現を要求する。それは、新秩序におけるアーリア人の高度な文化の開花のための前提条件であり、逆に、そのようなアーリア文化の価値の実現は、個々の人間-人格となる人間-の価値ある有意義な生活のための前提条件であるのと同じである。「汝自身を知れ」、「汝が何であるかを知れ」という古代アーリア哲学の基本的な要求は、このように国家社会主義者にとって決定的な重要性を持ち、彼の人生を形成する基礎となったのである。

ある世界観を正しいと認め、政党の綱領を受け入れ、政党を支持するのは、すでに国家社会主義者ではなく、救いを求めて努力し、共同体に縛られた人格となる人である。これは一生の仕事です。すべてのアーリア人がこの作業に導入されることになっている。国家社会主義党のすべての黨員同志は、この課題を自分自身で実現するために努力しなければならない。党の政治的兵士（Soldatentumと Sturm-ABteilungを参照）にとって、それは人生に対する態度の第6の戒めを形成する：“自分自身に取り組む”です。しかし、真の天性の指導者（Führerprinzip参照）には、人格の形成が不可欠な条件である。したがって、人格は決してブルジョア的個人主義（ビュルゲルトウムも参照）の産物ではなく、逆に国家社会主義者の共同体という考え方の重要な概念である。

95 「カルト・オブ・パーソナリティ

国家社会党（国家社会主義ドイツ労働者党を参照）は、国家社会主義革命の過程において、党の創設から新秩序の実現後の解散に至るまで、人々の唯一の政治的意志である（「意志」も参照）。党は総統主義に則って組織されている。そのトップは党首であり、ほぼ無制限の権限と責任を持つ。

総統アドルフ・ヒトラーのユニークな歴史的才能により、彼の死まで、総統、党、人民の間の統一、言い換えれば、党と人民の意志が総統アドル

フ・ヒトラーの人格にのみ具現化されることが存在したのである。総統の死後、自分にも同じことを要求する者、つまり、自分の個人と意志を党の上に置き、党を同一と呼び、自分を党と同一視する者は、傲慢な悪漢である！」。

一般の黨員から党首まで、誰もが党の道具であり、その集合知が上院に具現化される。個人は、党首まで含めて、党に溶け込み、党に奉仕する程度にしか価値がない。どのようなレベルであれ、党やその構造、規律と忠誠の要求よりも自分を高くする者、個人的な信奉者が現れて党のイメージを決めようとする者、あるいはそのように主張したり要求したりする者は、カルト・オブ・パーソナリティーの罪を犯していることになる。これは、国家社会主義や党の自己イメージに完全に反している。

意識的、意図的に、能動的に、あるいは受動的に、人格崇拜の罪を犯す者は、党の統一と意味を危うくし、党の敵となるのである。

田の下で楽しむ

ゲルハルト・ラウクによる逸話集

35.

湾岸戦争のとき、ペンシルベニアのトークショーで聞いた話だが.....。

ラジオ番組の司会者バリー・ファイン”はい、戦争について何かコメントは？”

電話：「この問題は、実はナチス・ドイツから始まっていると思うのですが.....。

快諾、ファイン。”サダム・フセインはヒトラーの一人だ！”

電話：”それはちょっと..... ”と思った。

フェイン”進め！進め！”

電話：「ヒトラーが電子レンジを持ってさえいれば、中東でトラブルが起こることはなかったように思うのですが...。

フェイン”アーッ！病気なんですよ！私の番組に嫌われ者は許さない！次の電話だ！”

36.

昨年1月、ある黒人社員がオフィスを回り、私たち白人を追い込もうとしていた。彼は、そこにいた国家社会主義者に、”今年のキング牧師の誕生日はどのように祝うのですか？”と尋ねました。

”ああ、我が家の伝統的なやり方なんだろうな”

”それは何ですか？”と驚いたジグが聞いた。

「そうだな、毎年1月15日（th）にはバルコニーに出てチョコレートケーキを食べるんだ」と同志は答えた。

37.

真実はフィクションよりも面白いことがある。人類の起源に関する最も優れた研究である「*人種の起源*」は、カールトン・S・クーンという人類学者によって書かれたものである。さらに面白いことに、彼はその先駆的な研究の中で、現代のアフリカの黒人は、絶滅した原始的なコーカソイド部族とピグミーとの間の結合の子孫であることを証明したのである。



NS KAMPFRUF
KAMPFSCHRIFT DER NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN ARBEITSPARTEI AUSLANDS- UND AUFBAUORGANISATION

Der Kampf geht weiter !

Seitlich Jahre nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 ist die nationalsozialistische Bewegung stärker als je zuvor in der Nachkriegszeit. Und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!

Jahrhundert von Massenmord, Verbrechen, Verfolgung und Verdrängung haben nicht zugenügt, die Kräfte der gänzlich links-orientierten hoch gebildeten Führer Adolf Hitler zu unterdrücken.

Alle Nationalsozialisten sind weniger affektive Völker- und Rassenmenschen als ein Schicksal im Kampf um die Erhaltung unserer weißen Völker.

Der Bewegung ist zwar militärisch gelungen, aber die Größe des biologischen Völkermord ist heute noch viel größer als in der Vergangenheit.

Der wesentliche Gegner ist aber dabei, dem Völkermord – gegen alle weißen Völker (?) – zu begehen. Seine Mittel sind Entnazifizierung, Überforderung und Assimilierung.

Ein "tagel" oder "tagel", ist im Weltkrieg oder im Stromkampf, als ein Propagandamittel bewirkt, oder auf einem Völkermord anderer Art. Jeder Nationalsozialist hat seine Pflicht!

Hitler
Gerdhard Lenz



TROTZ VERBOT NICHT TOT!



N.S.ニュース速報A
www.nsdapao.org
#1005 19.06.2022 (13)

NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA

フロントレポート
モリーへのインタビュー

第3部

NSK: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したものですね。

このような話題が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。

モリーです。フォトギャラリーの更新は続いています。主にAdolf Hitler and the Army of Mankind (www.movingthescient.com/truth.htm)に集中して取り組んでいます。現在2ページですが、まだまだやることがたくさんあります。第二次世界大戦の勃発は、まさに情報の地雷原です。1つのことについて情報を探しても、さらに2つほど調べたいことが出てくる。まるで、理




the **NEW ORDER**

Number 179 (2022) Founded 1973 April 26, 2022 (13)

The Fight Goes On !

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.

Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defilement have not sufficed to destroy the seed of the brilliant idea of our much loved Führer Adolf Hitler.

All National Socialists and other racially-aware consciences and racial kinemen fight our White folk.

The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.

The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are neo-White immigration, culture distortion, and re-education.

Whether "tagel" or "tagel", whether in election battle or street battle, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind, every National Socialist must do his duty!

Hitler!
Gerdhard Lenz



TROTZ VERBOT NICHT TOT!

NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物
多くの言語の何百冊もの本
多くの言語の何百ものウェブサイト



BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!
www.third-reich-books.com



NSDAP/AO nsdapao.info